

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 25 日現在

機関番号：24302

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370641

研究課題名(和文) 世界諸英語に関する理解を深めるための映画英語教育

研究課題名(英文) Learning and Teaching World Englishes through Films

研究代表者

山口 美知代 (YAMAGUCHI, Michiyo)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号：50259420

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：『世界の英語を映画で学ぶ』、『続・DVDで学ぶ世界の文化と英語』を含む4冊の書物を刊行した。学術論文5本、学会発表6回を行った。2013年11月にジェフ・リンジ氏のMagic Piano、2015年10月にジャスリン・フォード氏のNowhere to Call Homeの上映会・監督講演会を行った。2014年8月に公開シンポジウム「日本人の英語はどう聞こえるか 世界諸英語の時代のジャパニーズイングリッシュ」を開催した。世界の英語を映画で学ぶ研究会ウェブサイトですべて具体的な映画の特徴分析データを公開した。<http://eureka.kpu.ac.jp/~myama/worldenglishes/>

研究成果の概要(英文)：The results of the research were published through four books including "Learning about World Englishes through Films" (M. Yamaguchi et al. 2013, in Japanese) and "On Board for More World Adventures" (M. Kobayashi et al. 2015, in Japanese). 5 papers were published in academic journals and 6 papers were read at conferences. Two film showings accompanied by the director's lecture were organized, and one symposium on Japanese English in the era of World Englishes was held. The analysis of films using World Englishes are now published on our website, Learning World Englishes through Films at <http://eureka.kpu.ac.jp/~myama/worldenglishes/>

研究分野：英語学

キーワード：世界諸英語 World Englishes 映画英語教育

1. 研究開始当初の背景

世界諸英語 (World Englishes) という概念は、世界の各地で話される英語が多様であり、それぞれ個別の特徴を持っていることを明確に表している。この概念の根底にあるのは、世界のすべての英語の変種には優劣の差はなく、それぞれの英語はそれぞれの話者のものであり、そしてそれぞれが継続的な研究に値するという立場であり、英語の多様性を肯定する考え方である。その中には、母語として使われる英語もあれば、公用語として使われる英語もあり、また、外国語として学ばれる英語もある。

2013年度から2015年度までの3か年にわたって科研費助成を受けた本研究課題「世界諸英語に関する理解を深めるための映画英語教育」(研究課題番号25370641)では、英語学習者が世界の様々な英語についての理解を深められるように映画を活用する方法について研究を行った。

2. 研究の目的

世界中に英語話者が広がった今日では、非母語話者として英語を話すひとが増えている。英語が国際共通語となった点は英語教育においても重視されるようになり、英米の文化を学ぶことから英語での発信にシフトさせることが重要視されている。日本人も、わかりやすさ(intelligibility)を意識しながら英語で発信することが目指されるようになった。

しかし一方で、国際共通語としての英語の時代に、受信能力(リスニング、聴解能力)についての取り組みは、まだ十分とはいえない。というのも、国際共通語としての英語の特徴は、ジェニファー・ジェンキンスがコアとして提示したような仮説の形としては存在しているが、実際は世界各地の話者がそれぞれの特徴を備えた英語を話しているからである。

「国際共通語としての英語」の時代は、同時に「世界諸英語」の時代でもある。実際問題として、日本人学習者は受信(リスニング)において、英語非母語話者や、非標準英語の母語話者の話す「訛りの強い英語」に苦労することが多い。これは日本人学習者が英米の標準英語以外の英語を耳にする機会が少なく、聞き慣れていないからということが大きい。こうした点を補うための英語教育は、近年とりわけビジネスとの関連で意識されるようになってきたが、まだ、英語教育一般に浸透しているとは言えない。本研究は、世界諸英語の聴解能力の向上が、英語教育にとって重要であるという認識に立ち、映画を使ってその発展に資することを目指したものである。

3. 研究の方法

各研究者が、世界諸英語を使った映画を視聴し、その特徴を分析、記述することを研究

の柱とした。また、世界諸英語に関する文献の収集とその理解、および、世界諸英語に関する言語態度についてのアンケート調査も行った。研究成果の発信として、学会での口頭発表、学会誌への投稿、報告書、書物としての刊行を行った。

そのほか、公開シンポジウム、映画上映会・監督講演会、英語音声学セミナーの企画開催を行った。

4. 研究成果

(1) 世界諸英語を用いた映画の分析

世界諸英語を用いた映画の具体的な分析は本研究の主要成果である。書物として『世界の英語を映画で学ぶ』(山口美知代編著、松柏社)を2013年に発表した。これは、研究代表者山口美知代が第1章「世界の英語を映画で学ぶ」、第5章「オーストラリアの英語『オーストラリア』」、第7章「インドの英語『モンスーン・ウェディング』」、第8章「シンガポールの英語『フォーエバー・フィーバー』」およびコラム「日本英語が聞ける映画」「中国英語が聞ける映画」「ウェールズ英語が聞ける映画」「カナダ英語が聞ける映画」「ジャマイカ英語が聞ける映画」「スコットランド英語が聞ける映画」「フィリピン英語が聞ける映画」を執筆し、研究分担者野口祐子が第2章「イギリスの英語『日の名残り』」、同出口菜摘が第3章「アメリカの英語『クラッシュ』」、同浅井学が第4章「アイルランドの英語『ザ・コミットメンツ』」、連携研究者の溝口昭子が第6章「南アフリカの英語『第9地区』」を執筆した。

また、2015年3月に刊行した報告書『科研費研究課題 世界諸英語に関する理解を深めるための映画英語教育 2014年度活動報告書』では、アジア、ヨーロッパの非英語圏の映画を中心に16本の映画の英語分析を行った。2016年3月に刊行した報告書『世界諸英語に関する理解を深めるための映画英語教育 平成27年度科研費研究成果報告書』では、54本の映画分析を行った(うち6本が後述の演習受講生によるもの)。

さらに、本科研の成果を発表するためのウェブサイト「世界の英語を映画で学ぶ研究会」を製作し、公表している。ここでは2016年3月末の時点で、56本の映画分析を発表しており、今後随時増やす予定である。

(2) 英語教育面での研究成果

書物『続・DVDで学ぶ世界の文化と英語』(小林めぐみ共著、金星堂)は、大学での英語の授業に用いる教科書として編集されている。研究分担者小林めぐみは、共著者のひとりとして、世界諸英語の英語教育を映像を通じて行うという本研究の成果の一環として、本書物の執筆編集に携わった。

また研究代表者山口は書物『世界の文字事典』(庄司博史編)の「英語」の項目執筆を行ったが、これも本研究での成果を踏まえ

て、その一環として発表したものである。

なお、前項で挙げた 2016 年の報告書のなかには、研究代表者山口が、大学 3 年生を対象とした演習（ゼミ）の授業で、書物を教科書として使いながら、学生に独自の映画分析をするように指導した成果が含まれている。

（3）公開映画上映会、講演会、シンポジウム、英語発音セミナーなど

本研究は、世界諸英語の時代にどのように英語に取り組むかという課題を根源的なものとしてとらえており、そのことを一般公開された映画上映会、講演会、シンポジウム、英語発音セミナーを通じて追究した。

世界諸英語を用いた映画として 2013 年 11 月にジェフ・リンジ氏の Magic Piano、2015 年 10 月にジャスリン・フォード氏の Nowhere to Call Home の上映会および監督講演会を行った。

2014 年 8 月に公開シンポジウム「日本人の英語はどう聞こえるか 世界諸英語の時代のジャパニーズイングリッシュ」を開催した。これは法政大学グローバル教養学部の渡辺宥泰教授と英国ノーサンブリア大学のロバート・マッケンジー博士を外部講師として招聘し、活発な議論を行った。シンポジウムの様子は、2015 年 3 月刊行の報告書および、ウェブサイトで公開している。またマッケンジー博士の発表は論文として結実している。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

山口美知代、英語を話す日本人の表象
堤幸彦の異言語ユーモア、映画英語研究、
査読有、Vol.21、2016、pp.115 - 128

小林めぐみ、World Englishes（世界諸英語）の指導に有効な映画および現地視聴者アンケートの活用：韓国映画『英語完全征服』を中心に、映画英語研究、査読有、Vol.21、2016、pp.17-30

MCKENZIE, Robert, The Socio-linguistics of Variety Identification and Categorisation: Free Classification of Varieties of Spoken English amongst Non-linguist Listeners, Language Awareness、査読有、Vol.24、2015、150-168.

10.1080/09658416.2014.998232

山口美知代、『プライドと偏見』研究：世界諸英語の時代の『高慢と偏見』、京都府立大学学術報告・人文、査読無、Vol.65、2013、pp.1-10.

http://ci.nii.ac.jp/els/110009676592.pdf?id=ART0010158289&type=pdf&lang=jp&host=cinii&order_no=&ppv_type=0&lang_sw=&no=1465893732&cp=

出口菜摘、戦間期イギリスにおけるアメリカ英語 T.S.エリオットの場合、T.S.Eliot Review、査読有、Vol.24、2013、pp.47-57.

〔学会発表〕（計 6 件）

山口美知代、Language attitudes of Japanese students towards Asian varieties of English、Asia TEFL 第 13 回大会、2015 年 11 月 6 日、南京国際青年文化中心（中国南京市）

小林めぐみ、Validating the use of motives as instructional material for teaching World Englishes、Applied Linguistics Association of Korea、2015 年 9 月 19 日、中央大学校（韓国ソウル市）

小林めぐみ、World Englishes の理解を深めるための映画活用と現地視聴者アンケートの有効性：「韓国英語」と映画『英語完全征服』を例に、大学英語教育学会、2015 年 8 月 31 日、鹿児島大学（鹿児島県鹿児島市）

小林めぐみ、李熙卿、Effects of teaching World Englishes on Korean university students' attitudes toward English、Korea Association of Teachers of English、2015 年 8 月 29 日、ザKホテル（韓国ソウル市）

山口美知代、ジャパニーズ・イングリッシュを楽しむ堤幸彦映画、映画英語教育学会、2015 年 8 月 7 日、京都女子大学（京都府京都市）

山口美知代、Etra language or lingua franca?: English for Chinese students at a Japanese university、AsiaTEFL 第 11 回大会、2013 年 10 月 28 日、アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン、マニラ市）

〔図書〕（計 4 件）

小林めぐみ 共編著、続・DVDで学ぶ世界の文化と英語、金星堂、2015、90

庄司博史編、山口美知代、世界の文字事典（「英語」の項執筆）、丸善出版、2015、pp.22-27

山口美知代編著、浅井学、出口菜摘、野口祐子、溝口昭子著、世界の英語を映画で学ぶ、松柏社、2013、177

YAMAGUCHI, Michiyo, Teaching World Englishes through films: Monsoon Wedding and Indian English, New Horizons in English Language Teaching: Language, Literature and Education. Selected Papers from the Kansai Gaidai IRI Forum. ed. Masanori Toyota, Shigeo Kikuchi. Kansai Gaidai University. Michiyo Yamaguchi 査読有、2013、pp.339-352.

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

取得状況（計 0 件）

〔その他〕

ホームページ等

世界の英語を映画で学ぶ研究会

<http://eureka.kpu.ac.jp/~myama/worldenglishes/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山口 美知代 (YAMAGUCHI, Michiyo)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号：50259420

(2) 研究分担者

浅井 学 (ASAI, Manabu)

京都府立大学・文学部・教授

研究者番号：00257817

小林 めぐみ (KOBAYASHI, Megumi)

成蹊大学・経済学部・准教授

研究者番号：50339587

出口 菜摘 (DEGUCHI, Natsumi)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号：80516183

野口 祐子 (NOGUCHI, Yuko)

京都府立大学・文学部・教授

研究者番号：80128769

(3) 連携研究者

溝口 昭子 (MIZOGUCHI, Akiko)

東京女子大学・現代教養学部・准教授

研究者番号：00296203